中國新聞

発行所
中國新聞社
広島市土橋町7番1号
（郵便番号 733）
電話広島91局1111番（大代表）
郵便振替口座　広島57番
© 中國新聞社1979

「援護法制定」高まるうねり

広島被爆34周年 重み増す課題

署名など盛り上げ

七人委結論は来夏か

被爆三十四年の〃あの日〃は過ぎた。六日、荒木武広島市長は「平和宣言」のなかで、原爆被爆者と放射能被曝（ばく）者の問題に触れ「世界的課題として緊急な解決を迫られている」と問題を提起した。十六年ぶりに統一した原水禁世界大会の広島大会でも、「老いた被爆者にもう時間はない」と援護法制定を求めるひと際高いうねりが見られた。非人道兵器で身も心も傷ついた被爆者が、国に温かい補償を求めた悲痛な叫びを上げて久しい。明るい光がさす日はいつになるのか。来年の被爆三十五周年へ向けての最大の課題である。（夕刊一部既報）【2・3・18・19面に関連記事、4面に写真特集】

荒木市長は平和宣言で「被爆三十四年に当たり、政府が被爆者援護対策の基本理念と制度の見直しが始められたことに大きな期待を寄せる」と初めて政府の姿勢に対する「評価」をした。だが、同日の橋本厚相の記者会見、被爆者との懇談会の席上でも、これまでの発言の域を超える積極さは見られなかった。

来年夏までの実現見通しは極めて暗い。厚生省は「援護法をつくるにしても、被爆者救済制度の基本理念を検討している原爆被爆者対策基本問題懇談会（厚相の諮問機関）の答申を得て政府が動き出すのは早くて五十六年度以降になる」（三井速雄公衆衛生局企画課長）という。

先の国会で、野党が〃恒例〃の援護法案提出の見送りと引き換えに設置を認めさせたのがこの懇談会である。メンバーが茅誠司座長（元東京大学長）ら七人で構成されているため〃七人委〃と呼ばれる。現在の被爆者対策が不十分だとする社会保障制度審議会（首相の諮問機関）が一月、設置を答申していた。さらに、七人委に対しては「国家補償の精神を尊重した孫振斗訴訟の最高裁判決の趣旨を踏まえて被爆者対策の在り方を再検討する」よう要請している。橋本厚相も「七人委の答申には政府・自民党も白紙で従う」と約束している。

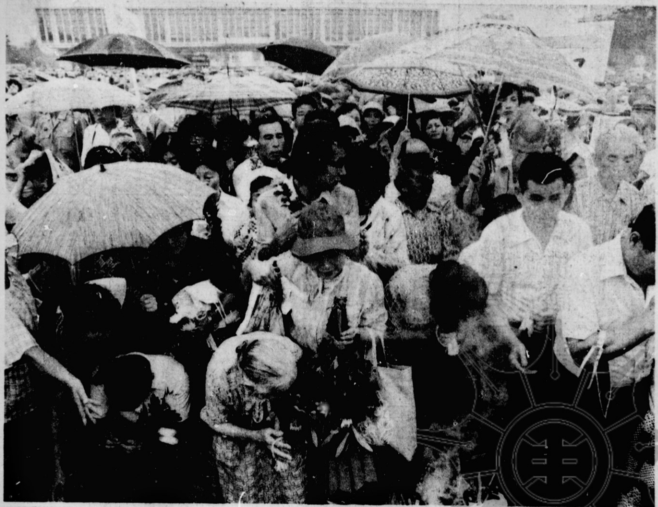
こうした経過によって当面、援護法制定に通じる〃バイパス〃となった七人委は、六月八日に初会合。以来、これまでに三回審議を重ねている。会議の内容は非公開のため明らかでないが、厚生省などの関係者によると、既に被爆者対策の基本理念という本題に入っていると言われる。夏休み明けの九月から、関係者の事情聴取が行われる段階ともいう。とはいえ、中間答申の形を採用するにしても七人委がまとまった結論を出すのは来年六、七月というのが厚生省の見通しである。

厚生省は七人委にげたを預けた限り、現行の原爆医療法と同特別措置法の一本化や援護法を検討するのは筋違い、としている。しかし、現行二法を援護法に切り替えるために生じる問題点は、援護法制定運動や国会審議を通して次第に整理されてきている。残っているのは①法の名称②所得制限の撤廃③手当の年金化④遺族補償の是非⑤他の戦災者とのバランス―などである。

このなかで、最大のネックは遺族への補償を認めるか否かである。死没者の補償は医療費と手当の支給を中心とする現行法をはみ出すもので、国家補償の立場に立つ発想が要求される。これには自民党・大蔵省に根強い反発がある。野党が法案提出を見送り、七人委に期待したのも、同委の権威でこのカベを突破したいという判断があった。

一方では、援護法制定を悲願とする日本被団協（行宗一代表委員）は「七人委は政府のまやかし」とし、野党の法案再提出を要求。市民団体と一体となって強力に署名運動を展開する構えである。七人委の早期結論を期待した野党も「答申待ち」が続くことは、運動をまとめていくうえからも望ましくないとしている。

被爆者の〃老い〃は、被爆三十五周年に向けて加速度がついてくる。慎重で権威があり、かつ早急な答申が待たれる。



祈り新たに　年老いた被爆者。悲しみを耐える遺族。〃三世の時代〃といわれるヒロシマだが決してあの日は忘れない。式典中降り出した雨の中を、手に手に花を持つ人の列が続いた（6日朝、広島市平和記念公園の原爆慰霊碑前で）

79原水禁世界大会

生存へ大運動を

広島大会アピール採択

原水禁三団体に労働、市民団体などが幅広く加わり、十六年ぶりの統一大会となった原水爆禁止一九七九年世界大会・広島大会は六日午後開かれ、核兵器廃絶、被爆者援護などを盛り込んだ「ヒロシマ・アピール」を採択して閉幕、八日から舞台を長崎に移す。統一大会とはいえ、核実験抗議、反原発の発言をめぐって原水禁団体が対立し、ソ連代表が退場する一幕もあり、舞台裏の複雑さをのぞかせた。

〃79世界大会〃は午後一時から約二時間、広島市基町の広島県立体育館で、原水禁団体の関係者や青年、婦人ら約一万二千人（主催者発表）と、二十カ国、六国際組織の海外代表六十五人が参加して開かれた。

原水禁国民会議の森滝市郎代表委員が「このように全国民の各界、各層が手を握って集まったのは初めてだ。全世界の人民の大団結で真の核兵器廃絶が実現できる」とあいさつ。主催者を代表して西井勇日青協会長が「一致団結して大会を開催できたことを喜びたい。ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ、ヒバクシャ、の声を一つにして核兵器廃絶の実現に輪を広げよう」と訴えた。

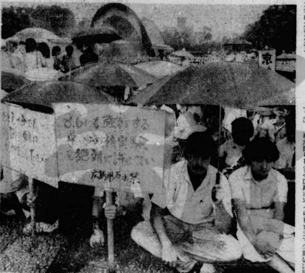
続いて、特別ゲストのロルフ・ビョルナーシュテット国連軍縮センター所長が「核兵器の貯蔵は人類の生存を脅かしている。ノーモア・ヒロシマの声は全世界共通のスローガンだ」と述べた。海外代表のジョン・サマビルニューヨーク市立大学名誉教授は、スリーマイルアイランド原発近くのハリスバーグ市が広島市に姉妹都市縁組の申し入れをしていることを報告。「すべての人がノーモア・ヒロシマ、ナガサキ、ハリスバーグの願いを共有することを伝える」と述べ、盛んな拍手を受けた。

この後、全国各地から運動報告や被爆者らの訴えがあった。このなかで、山形県原水禁（社会党・総評系）の代表は「ソ・米の核実験に抗議する。原発の稼動に手をこまぬいていてはならない」と厳しく訴えたが、会場からは「ナンセンス」「原発は取り上げるな」のヤジが飛び交い、ステージの議長団席からソ連代表が退席した。大会実行委員会運営委員会の「山形代表の報告は大会文書には反映されない。長崎大会でソ連代表に発言の機会を与える」との説明でソ連代表も了承したが、「いかなる」問題、原発をめぐって〃統一〃の複雑さを浮き彫りにした。

最後に「核兵器全面禁止条約の実現と核兵器使用禁止条約の締結の促進、被爆者援護法の実現、私たちと子孫の生存のための大運動に参加しよう」とのヒロシマからのうったえを採択、「原爆を許すまじ」を合唱して閉会した。

初の8・6座り込み

核実験抗議 米ソの横暴に憤り



「ヒロシマの願いがわからないのか」。香煙が立ちこめる広島市平和記念公園の原爆慰霊碑前で行われた座り込み。雨の中、怒りが渦巻いた

ずぶぬれになった被爆者が天を仰いでつぶやいた。「この雨は、慰霊碑に眠る人たちの怒りの涙ですよ」。雨が降りしきる広島市平和記念公園の原爆慰霊碑前で六日、米・ソの核実験に抗議する座り込みがあった。「いつになったらヒロシマの願いは届くのか」。三十四回目の〃あの日〃を直前にしての核実験強行だけに、参加者の表情はいつもより一段と厳しかった。

「ドン、ドン」―。午前十一時、原爆資料館下で怒りの音が響いた。日本山妙法寺の藤井日達山主を先頭に約三十人が座り込んだ。日本原水協の草野信男理事長の顔も見えた。「あくまで個人の意思で参加。アメリカに八分、ソ連に二分抗議したい心境だ」と二十分間で引き揚げた。

正午過ぎ、雨が降りしきる中、原爆慰霊碑前の石畳の上でも座り込みが始まった。資料館下に座っていた人も加わり、二百人に膨れ上がった。原水禁世界大会に参加した槙枝総評議長や中立労連の岡村惠事務局長、田中里子地婦連事務局長らも初めて輪に入った。海外代表三人もうちわ太鼓をたたいて参加。「ヒロシマ取材」に来た英国のロドニー・パーカー記者もずぶぬれになり、約一時間座った。「けさまで記者として被爆者の気持ちを取材して来たが、今度は記者を離れ個人として、自分の気持ちを表現したかった」と自国の核実験強行に怒りを見せていた。

「いかなる国のいかなる理由による核実験・核兵器にも反対」など書かれたプラカードやカサが林立する中で、子供たちの姿が目を引いた。広島県安芸郡熊野町の主婦正木和子さん（三四）は、七歳と三歳のわが子二人と、近所の小学生ら三人を「平和教育の一環として」連れて来た。「八月六日がどんな日か、米ソ両政府とも知っているはずなのに…。大国の横暴と権力に腹が立ちます」と話していた。

慰霊碑前の座り込みは四十八年以来、百二十七回目だが、8・6当日は初めて。一時間座った後、広島県原水禁の宮崎安男事務局長は「本当に腹が立つ。8・6は祈りの日だけでなく、怒りの日でもある」とぬれた顔をぬぐった。

この日は、広島市内の県庁前や広島駅前、呉、三次、尾道市などでも座り込みがあった。

原発反対派も集会

全国組織めざす

「被爆者・被爆二世は原発と核開発の社会を許さない」と広島の反原発グループが呼び掛けた「反核―反原発8・6広島集会」が、原爆の日の六日、広島市金屋町の労働会館に全国の原発地域住民、市民、労働者、学生ら約三百五十人が集まって開かれた。

スリーマイルアイランド原発事故で原発の〃安全神話〃が崩れ、日本でも原発労働者に放射線障害を訴える者が激増しているのが現状を反映、「いまや各界各層の手で反原発運動の全国的組織づくりを早急に」との声が出された。

「月内」で対野党折衝

臨時国会召集 首相・幹事長ら一致

政府、自民党は六日午後、首相官邸で大平首相を中心に斎藤自民党幹事長、田中官房長官が会い、今秋の衆院解散・総選挙を前提にした臨時国会の召集時期の問題をめぐり約一時間、協議した。

この結果「九月三十日総選挙」を前提に①臨時国会を今月二十七日から三十一日までの間のできるだけ早い日に召集する②前国会で廃案になった恩給、年金、薬事二法案などの生活関連法案の成立を図る―との既定方針を改めて確認。自民党は今後、金丸国対委員長を中心にこの基本方針に沿って公式、非公式の対野党折衝に全力を挙げることで意見が一致した。

これを受けて斎藤幹事長は、来週中に金丸国対委員長に再度会い、政府、自民党の最終方針を固めたうえ、二十日に開く与野党国対委員長会談で、野党側に臨時国会の月内召集を提案する。

名分のない解散に反対

灘尾議長、広島で語る

広島原爆平和祈念式に出席した灘尾衆院議長は六日午後、市内のホテルで記者会見し、近く召集が予定される臨時国会、今秋の衆院解散などについて考えを明らかにした。このなかで灘尾議長は「やみくもに（国会を）召集したり、やみくもに解散することは避けるべきだ。政府の意思で憲政を[illegible]されては困る」と述べ、大義名分のない解散に強い反対の態度を表明した。

天風録

三十四周年の八月六日は雨だった。午前八時から広島市平和記念公園の慰霊碑前で催された原爆死没者慰霊式・平和祈念式は、小雨の中で始まり、式が終わるころには雨脚が一段と強くなった▲三十四年という歳月。人それぞれ思いはさまざまであろう。あの日を回想し、あのときの惨禍をよみがえらせた人もあったろう。また改めて平和への決意を新たにした人もあったに違いない。被爆体験こそが、戦後日本の平和運動の起点だったとすれば、この原点を風化させてはならない▲広島と長崎に原爆が投下され、人類がかつて経験したことのない地獄絵は、さらにその後三十四年間にわたって多数の人々を癒え難い苦悩につき落とした。原爆後遺症―その果てしもない悲惨さとともに、決して忘れることのできないものである。それだけではない。核兵器は拡散し、その威力はますます強大となっているというのに、核戦争を防止する絶対的な政治保障は何もないといった国際政治の現実である▲被爆体験を次の世代に継承するための努力や、広く海外に伝えるためのいろいろな試みが行われているのは事実である。しかし、それなら広島と長崎の被爆体験からくる教訓が、本当に生かされているかというと、残念ながらノーと言わざるをえない▲あの悲惨な体験といまなお続く後遺症を忘れてはならない。風化を防ぎ、原体験を力強く跡づけて、次の世代に伝えていくことが大切だと思う。核戦争を阻止し、人類が平和のうちに繁栄することを願う〃平和運動の地下水〃が、年とともに地上にあふれ出ることを信じたい▲八月六日は来るべき一年の起点であり、出発点である。重ねて平和への決意を新たにしたいと思う。

きょうの紙面

《20ページ》

エアロマスター事件で2人逮捕（19面）
アフガニスタン内乱で軍加担（5面）
原油高で鉄鋼景気にかげり（9面）
高校野球組み合わせ決まる（12面）
山本浩、同点29号で分ける（13面）
米子で被爆者私設相談員活躍（15面）
脱走トラ捜索、5日目も不発（18面）

TWININGS on QE2 世界をめぐる豪華客船 クイーン・エリザベス2世号でも紅茶はトワイニング
贈りものにトワイニング紅茶
まごころを香りにのせて届けます。
片岡物産㈱

政府広報
シートベルトはあなたを守ります
万一の交通事故にそなえる命綱、それがシートベルトです。
あなたは締めていますか？
大丈夫と思っていても、自分の力で衝突のショックを支えられるのは、せいぜい時速7km程度までです。
締める操作はワンタッチ。
あなただけでなく、ご家族のためにも―
習慣にしたいですね　シートベルト
シートベルト着用推進運動
8月中
総理府

ファースト・ハワイアン銀行グループ
◯広島店◯
（0822）49-7121
広電ビル3F（紙屋町角）
外国銀行系列の総合信販会社
★マイホーム抵当ローン（2番3番抵当でも可）
ご融資額／100～1,000万円（月利1.5%～2%・実質年利18%～24%）・元利均等分割返済（最高150回）・登記簿謄本をご持参下さい。
★証券ローン（証券を抵当とするローンです）
50～1,000万円（月利2%・実質年利24%）・元利均等分割返済（最高150回）・上場の株券、社債、国債をご持参下さい。
★パーソナルローン・信販業務も取扱っています。
※東京・名古屋・大阪・岡山・福岡などに14支店ございます
□資本金3億7千500万円
ジャパン ハワイ ファイナンス
本社：東京都千代田区丸の内1-1-3 AIUビル

好評発売中
⑤楽しい洋裁シリーズ
すぐ縫える直線裁ち
★700円
鎌倉書房

女性は生きかたで美しくなる
マダム 9月号
●定価500円●鎌倉書房
秋・直線裁ちの外出着
わかりやすい製図、やさしい裁ち縫い。初秋の楽しい外出着があなたの手で
ウエストをマークしましょう
この秋、ベルトが決め手。こんな流行なら私たちもじゅうぶん楽しめます
よみがえったタイト・スカート
なつかしいタイトが再び注目の的に。ひとあじ違った着こなしのコツ
結びの手芸 マクラメ 大住けん
マダム ジョリー 秋を感じたら
中島弘子の お洒落読本 肩先を包む
マダムの子供服 チビッコの遊び靴
美容 髪 素肌と同じいたわりを
きものひとえ細
ホーム洋裁 ベストとキュロット・スカート
手編み教室 軽くはおるカーディガン
お姑さんとの新交際術
古くて常に新しい嫁姑問題を、どちらも幸せになるために考え直してみます
鶏肉をもっとおいしく食べる法
ひと味違うコツと 江原恵
ここまで来たプレハブ住宅
手作り緑 香辛植物 江尻光一・辰巳芳子
豚の角煮
きゅうりとなすの保存漬け
旅 旭川 大雪山のふもと
男のダンディズム バスローブ
この人にインタビュー 夏樹静子さん
男子厨房になぜ入る？
好評よみもの 中里恒子・森須滋郎 吉田秀和・田辺聖子 中井英夫・加藤秀俊・滝田ゆう・都筑道夫・岸本重陳・澤地久枝

絶賛発売中
ステーキの焼き加減
古波蔵保好
ミスター・ダンディーの誉れ高き著者が、独特の味覚で、諸国の美味との出会いを語る。■八五〇円
文化出版局

ミセス
今の"フォーマル"を考える…
九月号　発売！
文化出版局■定価五〇〇円
特別企画 正装と平服
フォーマル インフォーマル フォーマルウェアを着ることの多くなる秋に向けて、今にふさわしい"正装と平服"のありかたを！
中林洋子・植田いつ子・水野正夫・芦田淳・岡田眞澄
旅 スイス
「ピアジェ」のふるさとを訪ねて／森と湖とロマンの国へ
湖と草原と氷雪の山々、中世のふんいきを残す街々―この世界一の景勝を誇る土地の魅力と、組合せを考えた旅行着を
私はニットファン
［特集］で、いずれ劣らぬ手編みファンが自作自演でご紹介
簡単な手芸から夜の服まで
文織りシルクの服
［ミセス特選］格調高く着たい、古典的な花プリントのシルクジャカードの服
絹のブラウス
［おしゃれの視点］流行に左右されないおしゃれの財産 芳村真理
つつみ格子
［きもの長月］かすりを包み込むように織られた格子を現代の色彩で 浦野理一
特別企画 一通の招待状から
娘から母への贈り物
今、自分の道を歩く娘たちから、四人のすばらしいお母さまへのプレゼントは…
吉田貞子／堀ノ内弥栄子／青井紀子／名倉碧子
秋の和菓子
［料理］秋の草花や実りを伝統的な味覚、和菓子にしてお目にかけます
監修 鈴木宗康 製作 鶴屋吉信
お年寄りの部屋
［リビング］二世代同居の形、住いの安全面への配慮など、より快適な部屋とは
台所を改造する
［キッチンシリーズ］住まいながら台所の改造をするときに必要な知恵と工夫を紹介！
初めて棒針編みをする
やさしく編める、ベスト、セーター、カーディガンを！
三田誠広［随想］遊具の是非をめぐって
犬養道子［聖書の天地］宇宙と人間
瀬戸内寂聴［寂庵浄福］月と土
桐島洋子［女ざかりからの出発］教育ママ始末